

人口と世帯	人口	388,089人
	男	192,830人
	女	195,259人
	(前月より)	2,054人増
	世帯	154,913世帯
(前月より)	969世帯増	
	(14年4月1日現在)	

保育園で遊ぶ子どもたち



子ども家庭支援センター

2002年度内の事務所	市立町田保育園内 ・原町田6-26-15	☎710・1525
-------------	-------------------------	-----------

地域子育てセンター

4月1日 オープン	市立本町田保育園	本町田29-8	☎723・2789
	市立山崎保育園	山崎町2130	☎792・0155
	市立町田保育園	原町田6-26-15	☎722・2679
今後オープン	市立こうさぎ保育園	相原792	☎722・3034
	市立森野保育園	森野4-8-10	☎722・0352
	市立金森保育園	金森469-1	☎723・3664
	市立大蔵保育園	大蔵町1984	☎735・3600

進んでいます 地域で支え合う 子育て支援

子どもの健やかな成長と いきいき子育てを目指して

市では、2000年3月に策定した「町田市子育て・子育て支援計画」に基づいて子育ての環境整備を進めています。

ここでは、保育園の新たな開設のほか、子ども家庭支援センター、病後児保育室などの設置、またショートステイ・トワイライトステイの開始など、主に4月から実施された事業を紹介します。

「子ども家庭支援センター」(「コア」幹)と「地域子育てセンター」(「プランチ」枝)が一体となりきめ細かな子育て支援を行っています。

子育て家庭のあらゆる相談に応じサービスの調整・提供を行う「子ども家庭支援センター」(町



バット博士記念ホーム「マルガリータ」

田保育園内・原町田(丁目)を設けました。これを支援する機関として市内9地域に子育て支援ネットワーク連絡会を設け、情報の提供などのきめ細かな連携を図ります。また、市立保育園7園が身近な「地域子育てセンター」として育児相談に際したり、育児体験や、子育てサークルの場として活用されます。

今後はこのような市の子育て機関が連携して総合的な子育て支援ができる「コア」と「プランチ」

の体制づくりを構築していくことにしています。また、町田市子ども家庭支援センター職員と東京都の児童センター職員との交流も始まり、児童虐待等の抑制にも大きな力となります。

子育ては一人で悩まず、どんなことでも「子ども家庭支援センター」や身近な「地域子育てセンター」に相談下さい。

子どものショートステイ・トワイライトステイも受け付けています

保護者が疾病等の社会的な事由などにより子どもの養育が一時的に困難になったときにお子さんを預かるショートステイ、保護者が仕事などの事由により夜間の帰宅となるときなどにお子さんを預かるトワイライトステイの事業も始まっています。

利用を希望する方は子ども家庭支援センターにご相談ください。預かり先施設 社会福祉法人基督教児童福祉会 バット博士記念ホーム「マルガリータ」(右写真) (下小山田町2745・☎797・0063)

医療機関併設型の病後児保育室も開設しました

子どもの病氣看護と保護者の仕事との板挟みなどの悩みに応えるための施設が病後児保育室です。こうした施設はこれまで2カ所ありましたが、病気の早い段階から受け入れができるように新たに医療機関に併設する保育室を開設しました。

はやしクリニック病児保育室(はやしクリニック隣接地・志生2-29-20) ☎793・3722



はやしクリニック病児保育室

保育園に入園できない待機児童の解消のため4月に3園が開園しました

玉川さくら保育園(玉川学園3-35-48) 社会福祉法人光琳会設置・運営) 鉄筋コンクリート造り2階建て、延べ床面積586平方メートル。0歳児からの保育を実施。一時保育、子育て支援事業も行っていきます。

ひかりの子保育園分園(根岸町408) 社会福祉法人新生会設置・運営) 鉄骨造り2階建て、延べ床面積280平方メートル。0歳児・1歳児保育を実施しています。

しぜんの国保育園分園(志生2-7-5) 社会福祉法人 東香会設置・運営) 鉄筋コンクリート造り2階建て、300平方メートル。0歳児・2歳児までの保育を実施。



玉川さくら保育園



ひかりの子保育園分園



しぜんの国保育園分園

町田に静かな空を返せ

米軍、政府関係機関に厚木基地におけるデモンストレーション飛行の廃止を要請

市では4月15日に神奈川県及び厚木基地周辺7市とともに在日米海軍司令官、厚木航空施設司令官に対し、デモンストレーション飛行の廃止を要請しました。また、防衛施設庁、防衛庁外務省に対し、同飛行の廃止を米軍に申し入れるよう要請しました。要請に対し米軍からは「地域への影響に配慮し、昨年と同様に今年も実施しません。今後実施しない方向で検討します」との回答が、また防衛施設庁など政府機関からは「実施しないよう米軍に申し入れます」との回答がありました。厚木基地では、例年7月ごろ日米友好親善を目的として基地開放を行っています。そのイベントの一つとしてデモンストレーション飛行を実施しています。この飛行では、前日の準備期間も含めて数日にわたって急

旋回、急上昇、編隊飛行などの曲芸まがいの飛行が行われ、基地周辺の住民に、日常の飛行に伴う騒音に加え、墜落の不安と恐怖心を抱かせるなど多大な被害を与えています。これまでも市では、デモンストレーション飛行実施の発表があることに中止を要請してきました。その成果として、昨年7月の基地開放では、米軍は近隣住民に配慮して、デモンストレーション飛行を中止しました。しかし、今後デモンストレーション飛行を実施しないという決定を出すには至っていません。

市では、今後も神奈川県や基地周辺の各市、東京都とともに、デモンストレーション飛行だけでなく夜間飛行等の中止や安全確保の徹底等を強く要請していきます。やかに育ち、親が安心して子どもを育てることができる環境の整備を積極的に推進していくことにしています。